

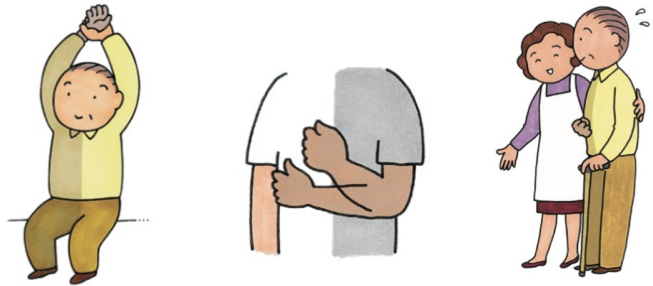
ボツリヌス療法ガイドブック

松村総合病院では、脳卒中発症後の痙縮に悩む患者様のため、医師・看護師・リハビリスタッフ(理学療法士・作業療法士)等が協力してボツリヌス療法を実施しています。

ボツリヌス製剤の効果

ボツリヌス製剤を筋肉に注射し神経の働きをおさえることで以下の効果が期待できます

- ✓ 筋緊張(筋のつっぱり)の緩和
- ✓ 関節可動域の拡大
- ✓ 疼痛の緩和
- ✓ 介護負担の軽減



リハビリテーションの効果

薬の注射に併せてリハビリを行うことで薬の効果を高めることができます。また退院後の自主トレーニングの指導や地域リハビリ(デイサービス・訪問リハビリ等)との連携を行い、患者様の生活に寄り添った治療計画を立案・実施していきます。

理学療法



最近歩くときの足のつっぱりがひどくなってきて、つま先が床に引っかかって長く歩けないの…

痙縮が強くなっていますね。ボツリヌス製剤を投与してから、今の足の状態にあった装具を作り直し、自主トレーニングの練習をしてみましょう。



毎日デイサービスへ行くのに、まずは自室から玄関先の車までちゃんと歩けるようにトレーニングしなくちゃね。



作業療法



麻痺の手でお碗を持つのがむずかしいんです…

それでしたら、ボツリヌスで痙縮を軽減させ、装具療法や電気療法を利用して練習して行きましょう。



そうですね。お碗を持って食事ができることを目標に、注射と日々のリハビリを頑張ります!



ボツリヌス療法の流れ

外来受診

医師及びリハビリスタッフが簡易的な評価を行います。治療の適応であると判断できる場合、入院・治療日を決定します。

入院治療

2週間の入院にて、詳細評価(全身状態, 上肢使用頻度, 歩行, バランス, 筋エコー画像 等)をもとに施注筋や投与量を決定し、施注とリハビリを行います。

※入院スケジュールの一例

月	火	水	木	金	土	日
入院	身体評価	ボツリヌス製剤投与	リハビリ			休み
月	火	水	木	金	土	日
				身体再評価	退院	

外来通院

月1回外来受診していただき、リハビリスタッフの身体評価にて治療効果を判定します。

次回治療

治療効果が十分に見込める場合、次回以降の治療計画を立て治療を継続していきます

ボツリヌス療法の注意点

ボツリヌス製剤の効果は**神経の過剰な興奮を抑えて筋肉を緩める**ものです。「より長く歩けるようになりたい」「上手に手を使えるようになりたい」といった目標を達成するためには、リハビリテーションや自主トレーニングを継続し、自身の状態をしっかりと自己管理していただく必要があります。

訪問・通所リハビリテーションとの連携、患者様やご家族様への自主トレーニング指導、治療計画の検討・修正、生活習慣の改善等、必要に応じて可能な限り対応致しますので、患者様を中心としたひとつのチームとして、共に症状の改善を目指しましょう。

※お問い合わせ

松村総合病院 医療連携室

0246-22-9934 / 0246-22-9951 (FAX)

平日8:30~17:00 / 土曜8:30~12:15

日祝・第3土曜日休み

